

大学等名：大阪府立大学

テーマ：テーマⅠ（アクティブ・ラーニング）・Ⅱ（学修成果の可視化）複合型

- 授業外の能動的な学修を促進するために、ICT技術を用いた反転学習を中心としたアクティブ・ラーニングを導入し、システム構築、コンテンツの作成・蓄積とハードウェアの整備を行いながら全学への展開を目指す。
- アクティブ・ラーニング科目の学修成果を可視化するため、学修行動調査や学生ポートフォリオの連携を推進し、さらにルーブリック評価を取り入れた成績評価方法の開発により、評価指標としてのGPAの実質化を図る。

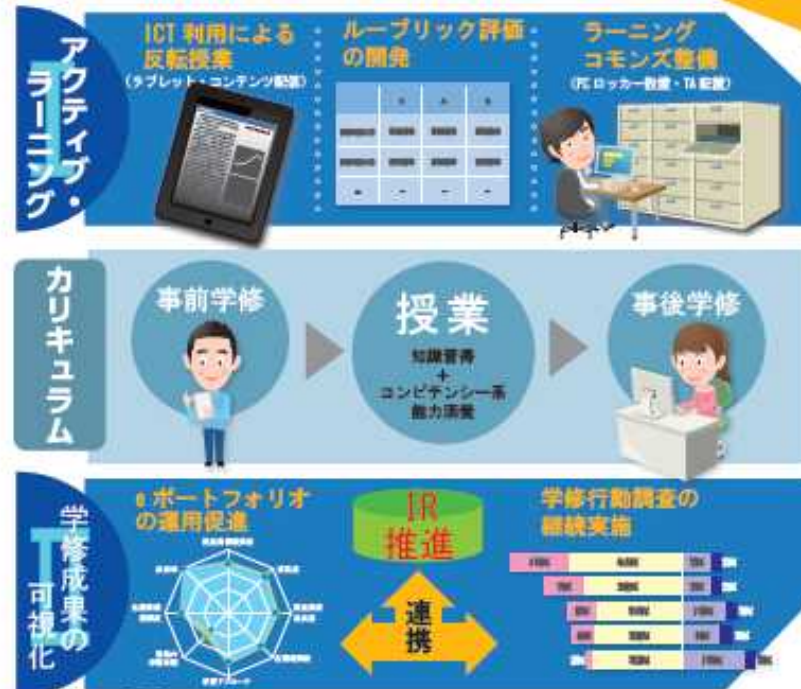
これまでの  
FD・IRの取り組み

- [必修科目]「初年次ゼミナール」(アクティブ・ラーニング)の導入
- 「学修行動調査」の実施 etc.

見えてきた  
課題

- 学生の授業時間外学修が微増にとどまる!
- GPAが知識習得以外の学修成果と関連しない!

改善  
(AP)



【事業の成果】

|                          | 平成26年度  | 平成28年度(目標値) | 平成30年度(目標値) |
|--------------------------|---------|-------------|-------------|
| アクティブ・ラーニングを受講する学生の割合    | 70%     | 100%        | 100%        |
| 学生の授業外学修時間               | 1.0時間未満 | 1.7時間       | 2.0時間       |
| 多様な評価尺度による入学選抜を経た募集人員の割合 | 0%      | 1.5%        | 3.0%        |

・ICT技術を用いた反転学習を中心としたアクティブ・ラーニング科目の導入と、これらの科目における学修成果の可視化を行うことにより、学生の教育の質の保証を柱とした学士課程教育改革が加速される。

・本事業におけるアクティブ・ラーニングの拡大と学修成果の可視化の推進により、FD・SDを柱とした大学改革が更に促進される。